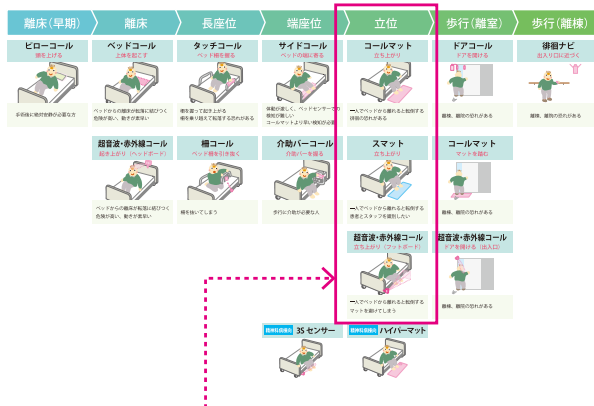




今月のテーマ

「立位」行動を検知する、離床センサーのご紹介

133号「患者の行動に合わせた、離床センサーの選定 2021」の中で紹介しました、【立位】行動を検知するセンサーを特集いたします。



立位

一人でベッドから離れると転倒する
徘徊の恐れがある

コールマット



マットを踏むとお知らせ

- ・設置がかんたん！
- ・マットの設置する場所によってお知らせするタイミングを変更できる。

POINT

同じマットに見える…！？

コールマットとスマートの違いは？

コールマットはどなたでもマットを踏むと作動するのに対して、スマートは、靴を履いたスタッフがマットを踏むと作動せず、素足や靴下で、マットを踏んだ患者は作動しお知らせします。

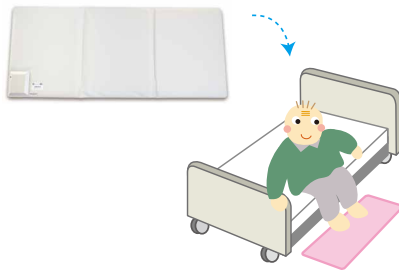
スタッフも踏んでも
ナースコールは
鳴りません！



マットを踏むとお知らせ

一人でベッドから離れると転倒する
患者とスタッフを識別したい

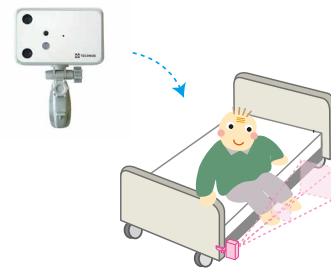
スマート



- ・患者を識別して、お知らせします。

一人でベッドから離れると転倒する
マットを避けてしまう

超音波・赤外線コール



検知範囲に入るとお知らせ

- ・コンパクトなので患者に気づかれにくい
- ・3種の取付具で様々な場所に設置が出来る



3つ取付具でセンサーの設置場所を変えて患者のADLに沿った転倒対策を！

→詳しくは今月号の「教えて相談室」で特集しています！ぜひご覧ください。



転倒の危険があり、歩行に介助が必要な方

転倒の危険があり、歩行に介助が必要な方

- ・転倒の危険があり、歩行に介助が必要な方
- ・急性期病棟の患者
- ・床敷きタイプのセンサーに気づき避ける方

離床センサーの定番ですね！
何も考えずにパッと床に敷くだけ！
簡単に使えるところが良いです。

A 病院 内科



患者対応後、中継ボックスの電源入忘れが多発し、課題でした。識別機能があるスマートでその心配がなくなりました！

B 病院 内科



使い始めはなじみがありませんでしたが慣れると、とても使いやすいです。狭い病室でも、気にせず設置ができるのがいいですね。

B 病院 精神科

